



CONTENTS ●新年のご挨拶…p.1 ●「第13回 JK合板会 新春座談会」どうなる?! 平成30年の合板業界・住宅建材業界…p.2～p.3
 ●創業80周年記念パーティー 感謝の集い／●第20回雙環フォーラム…p.4 ●JK情報センター 需要動向予測調査「平成29年度第4四半期（1月～3月）見通し」…p.5
 ●イチオシ! Bulls: LEDワークライトシリーズ…p.7 ●商品情報 ●合板天気図

あけましておめでとうございます。
 皆様のご多幸をご祈念申し上げます。



ジャパン建材株式会社
 代表取締役社長 小川 明範

皆様には平素よりひとかたならぬご厚情・ご愛顧を賜り心より感謝申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。また昨年は、私ども JKグループ創業 80 周年の節目を無事迎えることができました。これもひとえに皆様からの多大なるご支援・ご理解の賜物であり、改めて厚く御礼を申し上げます。

●昨年を振り返り

さて昨年は振り返りますと、安定した為替市場や低金利を背景に企業収益が向上、株価上昇や雇用情勢も改善するなど、日本経済は堅調に推移しました。住宅業界では夏場以降に新設住宅着工数を牽引していた貸家が前年を下回りはじめたものの、一昨年から大きく落ち込むことなく着地する見通しとなっています。

●工夫～変化に備える年

今年は昨年の景況感が大きく変化することなく継続と考えられますが、その先の 2019 年 10 月には『消費税増税』、2020 年には『東京オリンピック・パラリンピック開催』といったイベントが控えており、更にその先の 2025 年

には『団塊世代の後期高齢者層への突入』という変化が待ち受けています。現状の少子高齢化を反映した人口構造は、更に深刻な人手不足を生み、間違いなく我々の業界にも影響を及ぼすことでしょう。こうした様々な環境変化に対応していくために、企業は『イノベーション』による『生産性の向上』を果たしていかなければならないとされています。

イノベーション (innovation) は「革新」という言葉に翻訳され、社会通念上は、今までなかった技術の革新や創造という、いわば「発明」(invention) という意味に近い形で解釈されることが多いようです。しかしながら実際には、「既存の技術や手法による新たな組み合わせ」という意味合いだそうです。例えば、SNS を利用した損保顧客の集客ですとか、異業種間の合い積みによるリレー配送など、既に事例については枚挙に暇がありません。我々住宅・建材関連業界においても、もっと視野を広げ、他業種にアンテナを張り、柔軟な思考で『工夫』を凝らせば、きっとそこにはブレイクスルーとなり得る『答え』があるのではないのでしょうか。

●中期経営計画「DJ2018」の最終年

中期経営計画「DJ2018」の最終年となる今年は、その『工夫』を標語に掲げ、変化に備える一年とします。どんな『工夫』をすべきかを考えるとき、視座は枝葉末節に囚われず、大局観を大切にすると共に、視点は収益性などの経済的側面からだけではなく、「企業の存在意義」といった社会的側面からも、それを実践していきたいと考えています。

我々は企業理念を「快適で豊かな住環境の創造」として掲げており、中長期的ビジョンは変わりません。多様化するニーズにきめ細かく応えながら、今後とも「人々の幸せに・人々の笑顔に」貢献する企業を目指して参りたいと思います。

●今年の十干十二支は「戊戌」(つちのえいぬ)

「戌」は「茂」が語源で、草木が繁盛して盛大になること。一方の「戌」は「滅」の意味で、草木が枯死することだそうです。この二文字が連なる「戊戌」は、栄枯盛衰が顕著となる、いわば変化が現れる年になるそうです。

私達ジャパン建材は、81 年目の新たな挑戦と変化対応にも果敢に取り組み、お取引先各社様と共に更なる飛躍を目指して参ります。

本年も旧年に倍するお引き立て並びにご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

平成30年3月16日(金)・17日(土)
第39回 ジャパン建材フェア
 住まい方・暮らし方
 -Road to 2020-

東京ビッグサイト東展示棟 1・2・3 ホールで開催

Bulls

あったか
快適なのは
理由がある!

窓を断熱するだけで冬もポカポカ。

わが家の簡単
「省エネ」リフォーム

冬でも快適

断熱二重窓

楽窓Ⅱ
Roku-Modo

薄い 軽い 安心

見込み 40mm
で取り付けOKの
簡単すっきり
内窓!

断熱効果

●熱貫流率
U値 ▶ 2.71 W/m²・K
[電気代 ▶ 約20% 節約!]

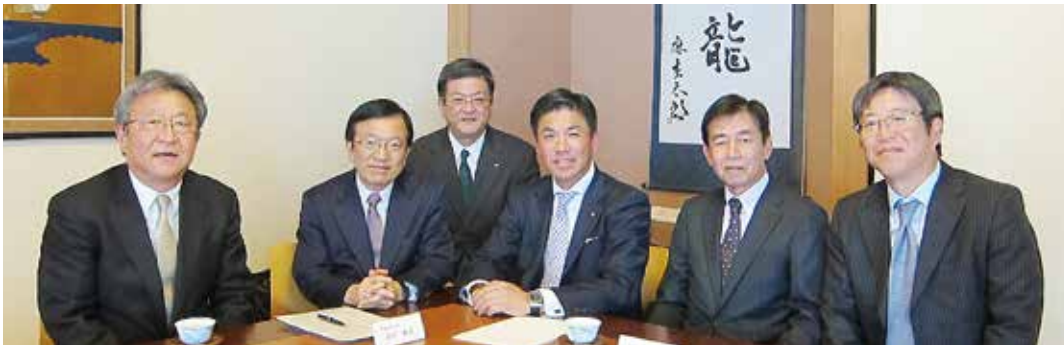
窓としての断熱性能
H-4等級に相当

外窓単板ガラス3mmサッシ
+
楽窓Ⅱ使用時

ジャパン建材株式会社

〒136-8405
東京都江東区新木場 1-7-2 新木場タワー 11F
TEL : 03-5534-3716 FAX : 03-5534-3856

「第13回 JK合板会 新春座談会」 どうなる?! 平成30年の合板業界・住宅建材業界



出席者（社名 50 音順）			
伊藤忠建材株式会社	代表取締役社長	柴田 敏晶	様
SMB 建材株式会社	代表取締役社長	角柄 明彦	様
住友林業株式会社	取締役常務執行役員	福田 晃久	様
双日建材株式会社	代表取締役社長	大西 哲也	様
トーヨーマテリア株式会社	代表取締役社長	田中 元浩	様
ジャパン建材株式会社	代表取締役社長	小川 明範	様
司会：ジャパン建材株式会社	合板部 部長	猪爪 清和	

司会 日頃は多大なご支援を賜りありがとうございます。また本日は「第13回 JK合板会 新春座談会」にご出席いただき感謝申し上げます。

まず、代表取締役社長小川よりご挨拶申し上げます。

【小川社長】

恒例となりました新春座談会にお集まりいただきありがとうございます。この会での新設住宅着工戸数・合板供給量予想の確度が高く、お客様はじめ仕入先様の反響も大きく、おかげさまで業界内でも注目される記事となっております。ぜひ皆様の大局観等も併せてお聞かせいただければと思います。

新設住宅着工戸数と 木造住宅着工戸数の予想

司会 新設住宅着工戸数の平成30年予想と、木造住宅着工数に分けてお聞かせください。福田取締役からお願いします。

【福田取締役】

現時点では会社としての新設住宅着工戸数予想が確定していませんので私の予想数字を発表します。

平成29年は96万戸程度になると思いますが、平成30年は94万戸と予想しています。利用関係別では持家が28万戸程度。今後も低金利が継続すると思いますが、お客様が決断する決め手に欠け商談に時間が掛かる傾向や、ハウスメーカーの受注伸び悩みも継続するものと思われます。

一方、貸家は40万戸程度。その根拠は、空室率増加や、個人向けアパートローン新規貸出の前期比が3四半期連続でマイナスとなっていることです。

分譲住宅は、25万戸、平成29年と同水準を維持して欲しいと思います。マンションは、供給面での制約が見込まれます。また戸建てについても横ばいと予想します。

消費税増税が来年10月の予定ですが、前回は新設住宅着工数では9%程度の駆け込み需要があったと分析しています。今回はその3分の1程度の影響規模で、それも平成30年の11月か12月頃に多少のプラスになると見えています。

木造比率はトレンドとして前年と変化はなく57%で着工数は53万戸程度と予想します。

【大西社長】

平成29年は7月から対前年比が下がりましたが、前年には届かないものの好調を維持して96万戸を予想しています。それに基づいて平成30年は、消費税増税の影響である程度は駆け込み需要もあり、96万戸程度を予想しています。木造住宅着工数は53万戸を予想しています。

【田中社長】

平成29年は96万戸、平成30年は分譲マンションの低迷や貸家の落ち込みが予想されていますが、

低金利が継続されていくことと、みなさんが仰っているように消費税増税前の駆け込み需要をいくらか期待して、戸建て分譲の若干の増加が見込まれます。従って、ほぼ平成29年並みの95万戸が新設住宅着工戸数、木造比率は57%で54万戸と予想します。

【柴田社長】

平成29年は前年より少し減って96万戸になるのではないかと思います。

平成30年は、低金利が継続すること、景気は良いであろうということ、消費税増税前の駆け込み需要もあって大崩れはしないであろうと思います。

今のトレンドとしては、住宅ローンの日本全体の総額が、5年前は115兆円であったのが、現在は140兆円。5年間で25兆円増えています。この背景には、史上最低の金利を活用して、若い一次住宅取得者が安い金利で長期ローンを組んでいることがあると思います。したがって、比較的安価な戸建て分譲は、平成30年もおそらく好調だろうと思います。賃貸住宅は、金融庁によるアパートローン審査の厳格化もあってピークアウトしただろうと思います。持ち家については平成29年1月～6月は前年比プラスでしたが、7月からマイナスになっていることを考えると、平成30年は若干落ちるであろうということで新設住宅着工数全体では94万戸～95万戸とみています。木造比率は57%～58%の54万戸を予想しています。

【角柄社長】

平成30年は、内需・外需を背景に景気回復基調は続くと思っています。内需については、設備投資や都市部の再開発、オリンピック関連需要が盛り上がる、比較的良い年になるのではないかと思います。そんな中で、新築住宅着工戸数に関しては、シンクタンク各社の予想では95万戸～96万戸近辺となっていますけれども、当社は現時点で少し強気の97万戸と見ています。因みに平成29年の新設住宅着工数見込みを95.8万戸としていますので、新年は1.3%増という予想です。

そのうち木造住宅着工戸数は従来と変わらず約56%の54万戸。中期の見通しの要素は、貸家は過剰感から減少傾向になるかもしれない、マンションも職人不足・建設費高騰等で頭打ちの傾向となる可能性があるものの、消費税増税前の駆け込み需要がある程度期待できるのではないかと思います。景気全体の傾向も、賃上げが浸透することで消費マインドも若干上向くのではないだろうか、楽観的に見えています。

【小川社長】

平成29年は96万戸弱と見ています。平成30年は皆様と同じように、マンション、貸家が減りますが、若干の消費税増税前の駆け込み需要が期待されると、低金利が継続されることを前提に約95万戸、木造住宅は52.7万戸を予想しています。

業界動向および 合板景気について

司会 それでは、新年の業界動向、合板動向、新年の抱負についてお聞かせいただければと思います。田中社長様、宜しくをお願いします。

【田中社長】

世界を見た場合、米国・中国の2大市場に牽引される形で世界的には今の好景気が続くと思われます。しかし、北朝鮮の問題や、英国のEU離脱問題等の不安要素が散見されます。

日本国内においては、日銀の量的緩和化に向けた動きが実行されるのか、それに伴い住宅ローンに対する融資はどうなるのか、最近の貸家の動向からも地方の新設住宅着工数は減少する一方、都市部は土地価格が高くなり土地の入手が難しくなるといった不透明な部分が多いものの、相対的には2020東京オリンピック・パラリンピックを控え、当業界にとっては悪くない年になると予測しています。また、まだまだ非住宅案件への木造化は伸び代があると思われる、良い年になると考えられます。

一方、問題点としては、オリンピック関連工事案件の材料・職人手当てに大きく影響し、材料費・人件費の高騰が懸念されます。

合板については、基本的には底堅い動きが維持されると予測します。現在すでにフル生産を行なっている国産合板ですが、通年不足感は続くのではないかと、それを輸入合板で補うにも東南アジアの環境問題等があり、数量増は期待できないと思われます。結果、価格高騰が続く輸入合板が従来使用されていた部位にパーティクルボードや石膏ボード等の国産のボード類を使用する新規用途採用に向けての研究開発が進むことが予想され、他資材への転換がさらに進む年になると予測します。

当社は、今期決算予測を290億円としています。平成30年度は4年前に達成した300億円にぜひとも届けたいと考えています。従来の「物を売る」ことから、手間をかけた、付加価値を付けた商売に動きたいと考えています。

【柴田社長】

新設住宅着工数が若干落ちて住宅関係は減るかもしれませんが、一方ではオリンピック関連施設の需要が新年にはピークを迎えることをプラスすると、総需要的にはそれほど大きな変化はないと見ています。そうした中で木材系の素材が非常に値上がりしています。これは世界的な傾向なので、このコストが上がった部分の転嫁が今年の大きな課題だと思います。加えて、輸入合板価格が上がったことに伴ってパーティクルボードやMDF、国産基材等にどういう形で転換していくか、ここがボード系のキーポイントになると思っています。



伊藤忠建材株式会社
代表取締役社長
柴田 敏晶 様



SMB 建材株式会社
代表取締役社長
角柄 明彦 様



住友林業株式会社
取締役常務執行役員
福田 晃久 様



双日建材株式会社
代表取締役社長
大西 哲也 様



トーヨーマテリア株式会社
代表取締役社長
田中 元浩 様



ジャパン建材株式会社
代表取締役社長
小川 明範

2018 年 新設住宅・木造住宅着工戸数・合板供給量予想

	新設住宅着工戸数	木造住宅着工戸数	国産合板／輸入合板
柴田社長	94 万戸～ 95 万戸	54 万戸程度	330 万㎡／ 270 万㎡
角柄社長	97 万戸	54 万戸	325 万㎡／ 275 万㎡
福田取締役	94 万戸	53 万戸程度	325 万㎡／ 276 万㎡
大西社長	96 万戸程度	53 万戸程度	325 万㎡／ 280 万㎡
田中社長	95 万戸	54 万戸	320 万㎡／ 280 万㎡
ジャパン建材	95 万戸	52.7 万戸	330 万㎡／ 270 万㎡

オリンピック関連の特需があり、工事・施工の職人不足がどのような形で影響してくるのか、これも一つの大きなポイントかなと思います。

また新しい流れとして、中古住宅流通市場あるいはリノベーションというものが一歩進む年になります。平成 30 年 4 月に「中古住宅インスペクション制度」が法令化されます。同じく 4 月から「安心 R 住宅」認定制度が始まることによって中古住宅の売買がしやすくなること。6 月には「民泊法」が一般に開放されますので、民泊向けのリフォーム需要も出てくるだろうということ。すぐに需要が出てくるということではありませんが、こういった法律によってリノベーション需要喚起に繋がっていくことを新年中盤以降に期待したいと思っています。

【角柄社長】

まず建設業界全般を見渡しますと、住宅では環境問題・ZEH 対応の具体的な案件がいよいよ増えてくるのではないかと思います。

一方、非住宅分野では職人不足を補う施工省力化がテーマになるかと思いますが、国産材活用がかなり旺盛になってくることが考えられます。特に国産材を使った大型木構造建築にゼネコン各社も取り組み始め、公共物件から商業施設等々に使われるようになり、木造のオフィスやマンションにも使われるようになるのではないかとということも、期待を込めて申し上げておきたいと思っています。そんな中で CLT や LVL の需要も徐々に増していくのではないかと期待しています。

合板景気については、国産合板は国内新設工場が商業生産を開始するのが 3 月くらいと言われているのですが、これによって現状の逼迫した需給バランスが緩和されてくるのではないかと思います。そんな中で従来は輸入合板の用途であったフロア台板や塗装型枠用合板の国内産への切り替えが進むのではないかと、その結果、需給のバランスが変わってくる可能性があるということが一つあります。また、耐力面材市場については、地震や災害の影響も有り面材市場全体が拡大していくのではないかと考えています。

輸入合板に関して、マレーシア サラワク州で今年にも Forest Rehabilitation Tax（森林環境税あるいは森林保全税）が導入される可能性が有り、平成 30 年以降も原木の供給が逼迫するのではないかと考えています。またインドネシアでは、ここ数年の相場低迷で伐採業者が撤退して数が減っていますが、相場次第ではその状況も改善されるかもしれません。ただし、原木の出材が減って輸入合板の高値が続くことで国産品へのシフトが続けば、需給バランスが緩んで輸入合板の相場が天井を打つことも考えられます。

フロア台板に関しては、建材メーカー各社が国産

の針葉樹合板や繊維板の活用を進めていますが、やはり使い勝手の良さから南洋材合板の利用を止めることはないと思います。リスク分散の観点から、今後も南洋材合板、国産合板、繊維板の使い分けが続くと思いますが、合板市場は平成 30 年も引き続き堅調に推移し、合板景気は概ね良好と見ています。

【福田取締役】

業界動向全体としては、新築住宅市場は若干弱含みの環境を予想していますが、リフォームや非住宅分野、材料では国産材の更なる需要の拡大が期待できます。非住宅や国産材は、市場の裾野が広がっており、新築住宅着工数の減少を補うだけではなく、全体の成長をプラスに持ち込む可能性はあると思います。

もちろん、国土交通省が力を入れている「安心 R 住宅」、あるいは「インスペクション説明義務化」等は、直ちに効果が出ないかもしれませんが、リフォーム需要拡大の大きなネックになっていたお客様の不安を払拭する画期的な取組みであり、日本の住宅市場構造を変えるようなパワーを持つものになって欲しいと思います。

木材の利用促進は、国の政策として位置付けられており、住宅以外にも木造化、木質化のニーズが高まることを期待するとともに、国産材活用を積極的に進めていきたいと考えています。加えて「クリーンウッド法」も実務的に登録もスタートし、業界内だけでなく、合法木材等の利用・流通推進の重要性が広く認知されるものになっていくと思います。また、職人やドライバー不足が言われていますが、その対策としてのインフラ構築に業界を挙げて働きかけていきたいとも考えています。

合板景気に関しては、輸入合板は港頭在庫が非常に低い水準で推移しており、アイテムによっては、不足感の強い状況が継続するのではないのでしょうか。また現地価格上昇を転嫁することが可能かどうかによりますが、当面は強含みの展開を予想しています。一方、構造用合板に加えてフロア台板や塗装型枠用合板の国産品への置き換えが進む年になるのではないかと見ています。加えて「働き方改革」による作業時間短縮や、従業員不足等、既存工場での生産量の増加はますます厳しくなっていくのではないかと懸念しています。

【大西社長】

合板業界全体としては、けっして悪くなく、堅調に推移すると見ています。先程から出ていますように年後半から始まる消費税増税前の駆け込み需要は、前回ほどではないにしても、底上げ材料になるでしょうし、オリンピック関連需要や公共物件の木造化、あるいはリフォーム等々、合板全体の底上げ需要になるプラス要素が多いと思います。

国産合板と輸入合板のバランスは、輸入のほうは供給力がついてこないため、そこが国産合板の供給力回復によって補われ、需給バランスは取れるのではないかと考えています。この機に輸入から国産へシフトする流れは、より加速するでしょうし、我々も加速に尽力したいと思っていますところです。

司会 さまざまな角度から分析いただきありがとうございます。

結びに、小川より新年の抱負と、本日のお礼を述べさせていただきます。

【小川社長】

私共の新年の業界見通しも皆様と同じような見方をしております。その中で特にオリンピック関連工事によって、これまでよりも更に業界内の不足感が増すことが予想されます。そのために、人手確保や資材確保等いろいろなコストが上がってくることが懸念されます。同時に「働き方改革」についても、業界を挙げて労働分配率を改善していかなければ、人材が残っていかないのではないかという思いも強くしています。そこは、賃金・給与以外に提供するフリンジ・ベネフィットのようなことも考えていく必要があるかもしれませんが、そのためには企業も何かを合理化しなければなりません。その一つは、利益率、我々流通業の利益率は低いのが現状です。そこを改善しないまま利益を増やす方策では将来は明るくならない、明るくするには売上のボリューム感を求めるよりも、利益率をどのようにして高めていくかという視点が大事になってくるのではないかと考えています。

もう一つは、生産性を上げる、イノベーションということが言われています。ある講演会で、日本では「イノベーション」は新しい技術や水素エネルギーなどの発明（インベンション）とイメージされがちですが、本来の意味は、従来の技術や物を違う形で、例えば複数の会社が配送をリレー方式で行なうといった異業種連携のように、「結合すること」だと。そういったことを私たちが実行しなくても、おそらく、新興勢力がどんどん考えているだろうと思っています。その象徴的なものが昨年 10 月に発売された、声でさまざまなアプリを連携させる AI スピーカー『Google Home』。AI 機器と家電を連動させるプチリフォームにも可能性があります。もしかすると、住宅リフォーム分野に Google が参入してくるかもしれません。そういったことを考えながら、私たちは住宅業界の既存のプレーヤーとして、もっと広い視野をもち、頭をより柔らかくして異業種連携も含めた需要喚起に努めなければならないと思っています。皆様からもお話がいったように国土交通省の住宅リフォーム推進政策の一環として「中古住宅取引の際のホームインスペクション（住宅診断）の説明」が義務化されます。そうした制度を需要喚起に繋げるにはお施主様の琴線にどうすれば触れられるのか、そこへ繋げていくのが私たちの仕事だと思っています。そのためには業界を挙げて工夫していけるような一年にしたいと思っています。

新年が良い年になりますようご祈念申し上げて結びとさせていただきます。

司会 長時間にわたりありがとうございました。本日の内容を参考に新年も販売に注力して参ります。

創業80周年記念パーティー 感謝の集い

会場内は終始、ご来賓いただいた得意先様の笑顔と活気であふれていました。

2017年12月1日(金)17:00から東京丸の内にあるパレスホテル東京において「創業80周年記念パーティー 感謝の集い」を開催いたしました。今期80周年という節目を迎え、日頃らご愛顧いただいております全国のジャパン建材会の会長・副会長をはじめとした得意先様(総勢140名)をお招きし、皆様への感謝とともにこれからの飛躍とともに目指すための宴席を催しました。

小川は「“快適で豊かな住環境の創造”のために得意先様の黒子となり、販売店様・工務店様が地域でご活躍いただけるよう、さまざまな提案活動をしてまいります。」と述べ、東京ジャパ

ン建材会会長である株式会社シノザキ 代表取締役 篠崎務 様からは乾杯のあいさつで「楽観視できない住宅業界の将来ですが、地域の主役となれるように連携を強め、共に発展していきましょう。」とエールを頂きました。

最後に青木から「日本の社会・建築業界なども変化をしていきますが、これからも感謝の気持ちを忘れずに、次世代に繋いでいきます。」と感謝のあいさつを述べ、大阪ジャパン建材会会長の株式会社丸国林業 代表取締役 平越國和 様から中締めとして「時代は流れていきますが、これからも住宅業界発展のために尽力して頂きたい」とお言葉をいただきました。



感謝の集い会場 パレスホテル東京「山吹」



第20回雙環フォーラム 開催

演題「試練は人を磨く」 講師：桑田 真澄 氏

2017年12月12日、新木場タワー1階大ホールにおいて、第20回雙環フォーラムを開催いたしました。毎回、様々なジャンルのゲストをお招きし、ご好評をいただいております当フォーラムも、節目の20回目を迎えることが出来ました。これもひとえに皆様方のご愛顧とご支援によるものと厚く御礼を申し上げます。

記念すべき20回目の講師には、PL学園、東京読売ジャイアンツでご活躍、40歳目前にはMLBにも挑戦、日本人選手として最高齢でメジャーデビューを果たされた、野球評論家の桑田 真澄氏にお越しいただきました。

会場中のほとんどの方が、順風満帆なスター人

生を歩まれておられるという印象をお持ちだったと思います。しかしながら、約1時間半のご講演の中で、挫折と苦悩と努力を大に感じる素晴らしいお話をいただき、その謙虚な姿勢、ご経験、生き様を知ること、桑田氏へのイメージが変わられた方がほとんどだったのではないのでしょうか。また、桑田氏が実際に使用されていたユニフォームやグローブに触られるパフォーマンスや、質問者への色紙プレゼントなどもあり、非常に贅沢な内容のご講演となりました。

約300名のお客様にお越しいただき、過去最高の盛り上がりを見せた今回の雙環フォーラム。次回(2018年5月11日(金))も是非お楽しみください！



雙環フォーラムとは？

企業の経営者として必要な「人間力」の向上を図るための講演会。発足年の平成20年、20年先の長期的視野で考える場所、「200年住宅ビジョン」にも対応していきたいという意味を込めて「2=雙/0=環」と名付けられました。

Bulls ドライ・イット

物干しを連想させないスタイルで
どんなお部屋にもマッチする壁面物干し

NEW

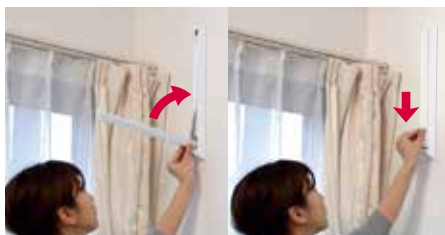
- 木下地なし石膏ボード壁に直接取付け。(木質壁にネジ止めも可能)
- 少量の洗濯物なら竿を設置せずに手軽に干すことができ、使用しない時はアームをスッキリ収納。
- ダンパー機構によりアームがゆっくり開く安全機能付き。
- アームの根元で操作できるので、高い位置に取付けても脚立などを使う必要がありません。



● ネイルを打込んで壁に固定。



● 使用する時・・・アームを取出す。
アームの根元を持って少し上げるとロックが解除
⇒ アームが自動的にゆっくりと下がってきます。



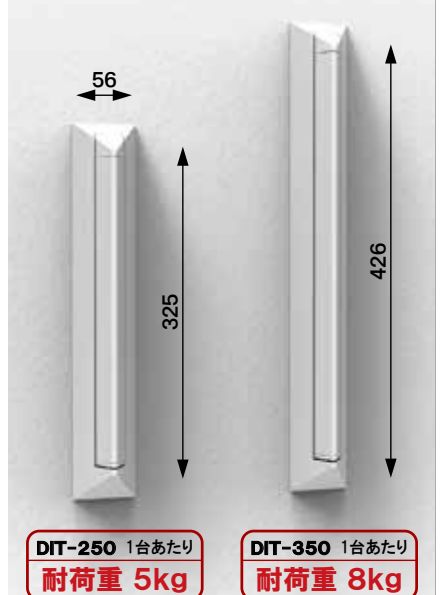
● 使用しない時・・・アームを収納する。
アームの根元を持って回転させて収納
⇒ 少し下げるとロックが掛かります。



● 1本使用でハンガー干し



● 2本使用で竿干し



※ 2本使用時の耐荷重は DIT-250で<10kg> DIT-350で<16kg>です。…耐荷重は物干しハンガー&竿の重さを含めた値です。
※ ハンガー&竿(φ32mm以下のもの)は、別途ご用意ください。 ※ 本製品はネジ固定も可能ですが、木下地の有無を確認して取付けてください。

平成 29 年度第 4 四半期 (1月～ 3 月) 見通し

工務店様による需要予測

2017 年（1 月～ 9 月）の新設住宅着工戸数は 72.0 万戸と前年比 0.5％の微増となった。地域別では温度差が見られ、四国が 7.3％と最も大きい増加となった一方、東北は 6.3％の減少となった。直近 3 カ月（6 月～ 9 月）では前年比 1.4％減少、7 月以降は持家、貸家共に減少となった。この市況の中、平成 29 年第 4 四半期（1 月～ 3 月）の需要予測がまとまった。

工務店様調査段階でマイナス 6.1 ポイントの回答となり前回調査（平成 29 年第 3 四半期）からは悪化となった。

地域別でみると、増加予測は近畿、中国、四国、九州の 4 地域、前回調査と比較すると北陸が減少予測に転じた。需要予測は住宅着工統計と概ね連動しているが、直近 3 カ月の統計と比較すると中部の減少予測と近畿、中国の増加予測は相反しており今後の動きを注視していく。

国策の各種補助制度活用による効果についてのアンケートは「あまり変わらない」「利用していない」の回答が 7 割を占め、各種補助制度に対する関心の薄さが伺える。政府の意図とは裏腹に活用は限られており、この層が今後活用していくことでそ野の広がり期待したい。

1 月から 10 月までのフラット 35 の申請件数は前年より落ち込む一方、質の高い住宅が条件となるフラット 35S は前年比 6.9％増となった。新設住宅着工戸数が減少している中、耐震、省エネ、高耐久といった付加価値の高い住宅の潜在需要が推察される。高品質の住宅の提案を行う上で国策の各種補助制度を理解し、個別に必要なに応じた提案を行うことが求められる。補助制度の利用状況を注視すると共に次回の需要予測にも大きな期待をもって臨みたい。

主要メーカー様による販売予測

前回予測は増加と減少がほぼ同じ二極化の予測になっていたが、今回予測は全分類で増加予測が減り、減少予測は木質建材を除き増え、厳しい予測となった。

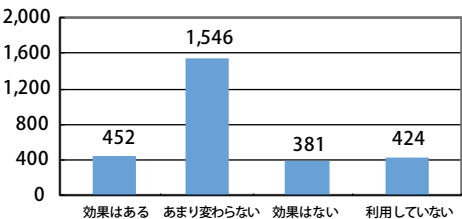
	増加予測	前年並予測	減少予測
合板	17.1%	63.2%	19.7%
木質建材	23.8%	47.4%	28.8%
窯業・断熱	23.3%	55.9%	20.8%
住設機器	20.8%	51.4%	27.8%

リフォームの現状

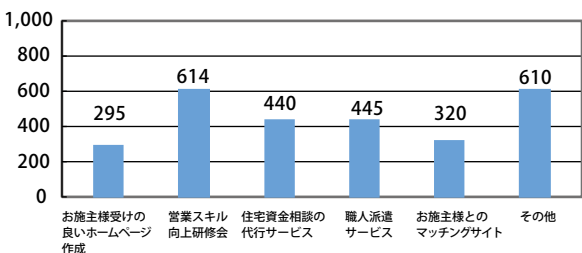
1 物件あたりの売上価格を見ると 251 万円以上の割合は前回調査より 4.1％増加している。売上価格の上昇は修繕箇所が増加や付加価値がついたリフォームが予測される単なる修繕だけではなく、プラスアルファの要望が増えていることが推測される。

高品質なリフォームは国策の補助制度も利用しやすいため、施主様のメリットも大きい。長期優良化リフォーム推進事業や住宅ストック循環支援事業といった補助制度の活用が増え、リフォーム需要の拡大に繋がるよう期待したい。

● 国策の補助制度活用による効果をどの程度感じているかお答えください。



● 『快適住実の家』について、受注を促進する為に弊社サービスに最も期待することをお答えください。



調査の目的

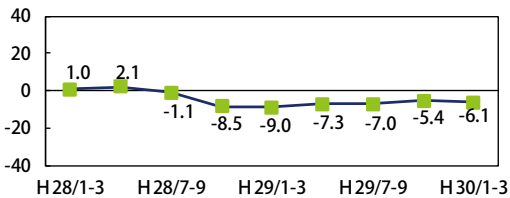
この調査は、ジャパン建材㈱のお取引先における販売動向及び、景況判断を把握し、今後の適切な販売指針に資することを目的として実施しました。

調査の時期と方法

この調査は平成 29 年 10 月下旬から 11 月上旬までを調査時点として、お取引先 3000 社に面接調査を行い回収したものを一括集計したものです。※通商株式会社、株式会社ミトモク、物林株式会社、株式会社銘林にも調査依頼をしております。

● 工務店様での景気動向の推移

過去 2 年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。



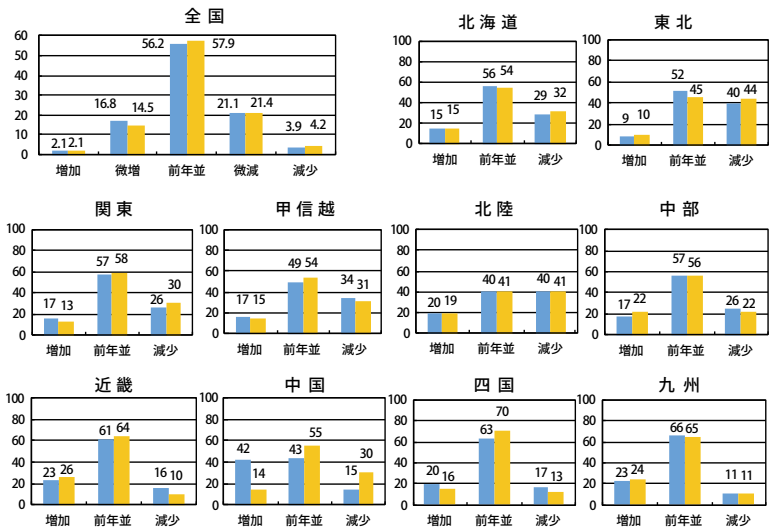
● 工務店様での需要予測

全国 回答数 2,815

平成 29 年度 第 4 四半期
平成 28 年度 第 4 四半期

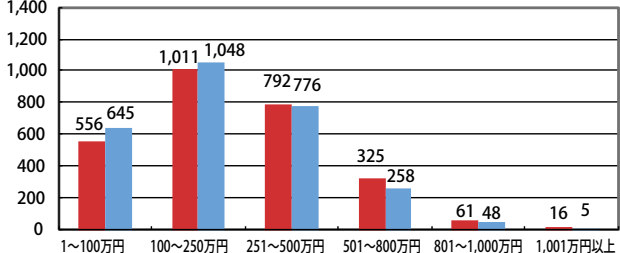
有効回答数			
北海道	144	中部	214
東北	327	近畿	344
関東	972	中国	187
甲信越	193	四国	95
北陸	60	九州	279

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中から
お選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算
出しました。単位は、「％」となります。



● 工務店様における 1 物件あたりの売上平均

■ 平成 29 年度第 4 四半期 ■ 平成 29 年度第 3 四半期



洗面室やキッチンなど小さなスペースに 小空間対応のマルチエアコン新登場！

小空間マルチカセット

ココタス

ダイキン工業株式会社

NEW 2018年2月発売

2畳以上

0.8 kW

GOOD DESIGN AWARD 2017
BEST 100公益財団法人 日本デザイン振興会
2017 年度グッドデザイン賞受賞（住宅設備機器部門）
受賞対象機種：C08VCCV（2018 年モデル）

空調の自由が広がると、住まいの自由がもっと広がる

住まいには、廊下や洗面室、キッチンなど短い時間しか使われない小空間があります。ココタスは、そんな非居室にもすっきり収まるコンパクトエアコン。

これまで暑さ・寒さに悩まされていた小空間が、身体ストレスのない快適なスペースへ変わり、新しい日常の楽しみ方が生まれます。

例えば、洗面室は自分磨きの特別な空間へ。

廊下は子供たちの想像をふくらませる空想空間へ。

マルチエアコン「ココタス」。

家は過ごす場所から楽しむ場所へ。



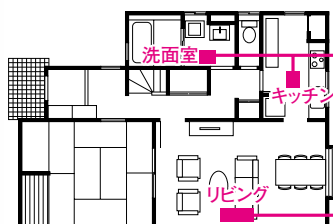
コンパクトサイズ

小空間でも設置場所に困らない
コンパクトな天井設置タイプです。

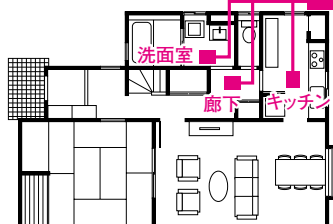
冷房・暖房・除湿エアコン

冬の暖房はもちろん、夏の冷房、
除湿もできるエアコン空調です。

■リビングにプラスして
キッチンや洗面室へ



■小空間をまとめて快適に



これからの床断熱施工

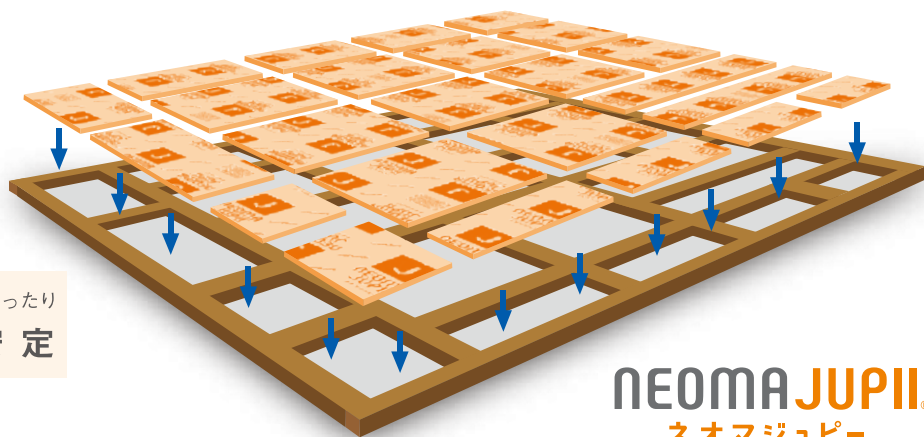
ネオマジュピーのフルプレカット

原板を最適サイズにカットして出荷します。最も効率の良い板取を計算するので、使用原板が最少になります。

測る切る捨てる
がなくなります。

カットの手間なし 廃材処理なし 工場加工でぴったり

■工期短縮 ■コスト削減 ■品質安定



NEOMAJUPII.
ネオマジュピー

※ネオマジュピーフルプレカット品は、
JIS A 9521 フェノールフォーム断熱材 1 種 3 号 C II
の幅 / 長さを切断加工した製品です。

旭化成建材 〒101-8101 東京都千代田区神田神保町 1-105 営業本部：03-3296-3530



住宅完成保証の新しい常識

施主様の建築資金を
全額保護

家づくりに必要なお施主様の建築資金を
すべて直接お預かりし、
建築中の工事の中断や事故の有無にかかわらず
取引会社さん・職人さんへ
直接支払される唯一のシステムです。

株式会社ハウス・デポ・ジャパン
www.heart-system.org



おかげさまで、
創業10周年を迎えることができました。

ハウス・デポ・パートナーズ
札幌営業所開設しました!!



長期固定金利住宅ローン
ハウス・デポ
【フラット35】



所在地：〒064-0821

北海道札幌市中央区北一条西20丁目1番27号 井門札幌N120ビル3階C号
(地下鉄東西線 西18丁目駅 出口①)

電話：011-632-0035

担当エリア：北海道全域

お問合せ・お申込みは・・・

HOUSE
DEPOT
PARTNERS

【三井物産・JKホールディングスグループ企業】

株式会社ハウス・デポ・パートナーズ

フリーダイヤル：0120-887-800

Mail: hdp@housedepot-p.co.jp

担当：営業部 尾崎、伊東、荒谷、北野、伊坂、村田

貸金業登録番号 関東財務局長(1)第01508号
日本貸金業協会会員 第005893号

NEW

Bulls

LED ワークライト

快適で安全な職人さんの作業環境をアシスト！
現場に応じて選べる！
省電力・長寿命な LED ワークライトです。

イチオシ! Bulls



LED クランプ式



一体型

空間全体を 均一な照度近づける
クランプと置型の2WAY仕様。

昼白色 広配光 約120° 防雨型 室内・室外兼用

LEDクランプライト

規格	明るさ (lm)	定価
LWT-2000C	2,000	税抜9,980円
LWT-3000C	3,000	税抜13,280円
LWT-5500C	5,500	税抜16,280円

※別売台座
使用時

LED ベースライト

全光束 (明るさ) **4000lm**
500形相当
消費電力 55W 長寿命 40000時間

空間を均一な照度で広く照らす

昼白色 広配光 約110° 防雨型 室内・室外兼用

LEDベースライトAC式

規格	明るさ (lm)	定価
LWT-500BA	500	税抜4,980円
LWT-1000BA	1,000	税抜6,480円
LWT-2000BA	2,000	税抜11,580円
LWT-4000BA	4,000	税抜13,800円



LED スタンドライト



1灯

全光束 **5000lm**
500形相当
消費電力 53W 長寿命 40000時間

2灯

全光束 **10000lm**
500形相当
消費電力 106W 長寿命 40000時間

昼白色 広配光 約110° 防雨型 室内・室外兼用

LEDスタンドライト

規格	明るさ (lm)	定価
LWT-5000ST	5,000	税抜15,980円
LWT-10000ST	10,000	税抜24,800円

LED クリップライト



空間LEDクリップライト屋内用

規格	ルーメン数	定価
ILW-45GC2	485lm	税抜2,980円
ILW-85GC2	810lm	税抜3,480円
ILW-165GC2	1600lm	税抜4,980円



LEDワークライト防滴型 ぶら下げタイプ

規格	ルーメン数	定価
ILW-43GB2	485lm (一般電球40W相当)	税抜2,980円
ILW-83GB2	810lm (一般電球60W相当)	税抜3,280円



LEDクリップライト防滴型
強力クリップタイプ

規格	ルーメン数	定価
ILW-45GBC2	485lm (一般電球40W相当)	税抜3,980円
ILW-85GBC2	810lm (一般電球60W相当)	税抜4,280円

省電力

【発電機に使える灯数】1600w の場合



8灯

LEDなら、他の電動工具も同時に使える！



73灯

消費電力2500W(1,800lm)
※当社LEDクランプライトLWT-2000C

明るい

白熱球 LED電球

色温度	暖かい色 2800K	白い色 6500K
明るさ	日没40分前の明るさ	晴天正午の太陽光と同じ明るさ
雰囲気	あたたかくやさしい	清々しくさわやか

LEDなら、太陽光と同じ明るさ

長寿命

【使用時間】



1000時間

LEDなら、交換回数が少ない！



40000時間

丈夫

防水 防じん 落下



屋外でも安心、防雨仕様 [IP65] ※LED電球・LED投光器はIP54になります。

いろんなシーンで活躍



お問合せは、ジャパン建材各営業所までお願いします。

2018年 戊戌 (つちのえいぬ)



今年の十干十二支は、「戊戌」(つちのえいぬ)で、植物の成長段階を表し、変化する年とされています。表紙で小川が紹介しておりますが、戊(つちのえ)の字は「茂」が語源で、「草木が繁盛して盛大になること」という意味があります。戌(いぬ)は、切るという意味で「草木が枯死すること」。また、中国の古い思想である陰陽五行を取り入れると、戌も戌も土の性質を持っており、このような関係を比和と言います(前年の丁酉は、火と金の組合せ)。比和は勢いが増すと言われ、有名なのは丙午(ひのえうま)の年で火の性質が重なることから、様々な迷信があります。土は万物を育成し保護する性質と四季の移り変わりの象徴にもなります。つまり、成長や成熟し、次のステージに向かっていく事になります。

60年前の戊戌1958年は、皇太子と美智子様の婚約(民間から選ばれた初の皇太子妃)・東京タワーの完成(テレビ時代の幕開け)・岩戸景気(1958年～1961年)・国立競技場の完成(スポーツの聖地)など、120年前の戊戌1898年には、日本最初の政党内閣 隈板内閣(第1次大隈内閣)の誕生がありました。その時代に一石を投じた出来事が数々あります。

過去の歴史から見ても戊戌は、大きく成長できることが期待できる「成長を促してくれる年」となりそうです。弊社もお取引先各社様と共に更なる成長・飛躍の年となるよう様々な提案活動を行って参ります。

本年も旧年に倍するお引き立て並びにご指導・ご鞭撻の程、よろしく申し上げます。

合板 天気図



晴れ

ジャパン建材 合板部
部長 猪爪 清和

新設住宅着工戸数

2017年10月度は83,057戸(前年同月比4.8%減)で4カ月連続の減少となった。その内、木造住宅については49,052戸(同比3.7%減)で4カ月連続の減少となっている。10月度の季節調整済年率換算値は93.3万戸で前月比2.0%減、先月増加から再び減少となった。

利用関係別では持家が24,807戸(同比4.8%減)で5カ月連続の減少、貸家は38,017戸(同比4.8%減)で5カ月連続減少、分譲は19,588戸(同比4.8%減)で2カ月連続減少となった。分譲の内訳はマンションが7,489戸(同比16.9%減)で2カ月連続の減少、戸建ては11,861戸(同比5.0%増)と先月の減少から再びの増加となった。持家、貸家及び分譲が減少したため、全体で前年同月比4.8%減少となっている。

国内合板

10月の生産量は28.0万㎡(前月比101.8%、前年同月比106.2%)と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は26.8万㎡(同比101.9%、106.5%)となり、出荷量は27.3万㎡(同比102.1%、105.8%)となった。

国内針葉樹合板は生産量26.8万㎡・出荷量27.3万㎡と共に過去最高の数量となり、低水準で推移している在荷

量が更に減少している。非構造用合板が大幅に増加しており、引続き継続されていくと思われる。今後の需要を考えるとこれからしばらく強気で推移していき、需要増加局面では品不足による混乱も考えられるので、多少先の必要量は確保しておいた方がよいだろう。

輸入合板

10月度入荷量は23.2万㎡(前月比106.9%、前年同月比101.5%)となった。国別では12mm品中心のマレーシアからの入荷量が8.8万㎡、インドネシアからの入荷は7.3万㎡となっている。1～10月平均の入荷量は、前年の103.8%と増加はしている。

輸入合板は産地の原木不足が深刻で生産遅れが深刻化している。更なる増税話も出ており、しばらく現地価格は強気で推移すると思われる。港頭在庫も極めて低水準であることから、アイテムによっては欠品状態が継続すると推測され、先行き仕事が見えている分は早めに手配し、玉を確保する事が肝要と考える。今後価格が上昇傾向であることは頭に入れておきたい。

国内・輸入共に晴れの状況が続くと思われる。

JK お客様
センター

お聞かせ下さい。お客様の声！
フリーダイヤル 0120 (563) 568 受付時間：平日 8：30～17：20
土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休暇は、受付を休ませていただきます。

企画
発行

ジャパン建材株式会社 営業推進部
〒136-8405 東京都江東区新木場 1-7-22
TEL:03-5534-3711 (代) FAX:03-5534-3855 (代)
URL: <http://www.jkenzai.co.jp>